

光を取り込み、笑顔を照らす 中庭が家族をつなげる家

「SORAデザイン」がつくった
令和元年市在住 / 下さんの住まい

閑静な住宅街の一画で、
壁にしっかりと守られた家。

中に入ると、明るく伸びやかな空間の中で、
小さな姉妹が全身にお日さまを浴びながら、
成長の日々を送っていた。



開放的な内観が想像つかないほど、外から家の中は全く見えない。外構や植栽までまとめて
[SORAデザイン]に任せられたので、シンプルでもカッコいい外観になった



中庭のおかげで、日中はとても明るい。天然木の床と塗り壁が自然光を優しく返す

好みが合うオーナーの存在が
家づくりの決め手に

4歳と2歳の姉妹が元気に
家を駆け回るF邸。最近は、家

の中心にあるウッドデッキで
シャボン玉を作つては追いかける
のがブームだ。「思いきり遊べる

家になつてよかつた」とキッチン
から見守る奥さま。なにせ家を

建てる前は、家族4人で1LDK
のアパート暮らし。「さすがに
手狭になつて(笑)。そんなとき

「SORAデザイン」を雑誌で見
かけたんです」。洗練された家の
デザインが気になり、事務所を

訪れた夫妻。同社の田崎さんの
営業っ気のなさに驚きつつ、「デ
ザインの話中心かと思ったら、熱
いの間にか決めていた。

弁されたのは構造や減震装置
UFO-Eの標準装備のこと。
それがとても誠実に感じた」と

ご主人は好感を持った。
完成見学会がない時期だった

が、同社で建てたOBさんの家
を見て、さらに惚れ込みました。

オーナーさんからも、何でも聞き
出して(笑)」。スタッフは皆優し
く、家づくりは楽しかった、予算
内で希望を叶えてくれる…聞
けば聞くほど魅力的。「何より、

その素敵なおーナーさんと好み
が似ていて、この人が気に入った
家なら間違いないなつて(奥さ
ま)。他社も見てはみたが、夫婦

とも「SORAデザイン」で、とい
つの間にか決めていた。





私達がたどりついた、
住みやすさのカタチ。

外からはしっかりと守り
中は伸びやかに広がる空間

木をふんだんに使い、塗り壁で仕上げた柔らかな雰囲気と、敷居が少ない広がりある空間…。「SORAデザイン」らしい内観デザインは、田崎さんのセンスを信頼し、お任せした。「強く希望したのが『家族が繋がる家』でした」とご夫妻。「カーテンが嫌いで付けたくなかったんですが、ここは両隣に家が建つ住宅街。なので、建物が中庭を囲む間取りを提案してくれたんです」とご主人。外からはほぼ壁しか見えないが、中庭から屋内に光や風が入る開放的な空間が広がる。このおかげで、日中は窓もスクリーンも大開放。「家具も増やしたくなかったので、OBさんの家で一日惚れ



カウンター下に隠せる収納がたっぷり。キッチンの上だけは、モザイクガラス越しに“少し魅せる”収納棚をついた。ご主人自慢のコーヒーグッズも、インテリアのアクセントに



ご主人のこだわりの1つがコーヒー。パントリーの片隅に自慢のコーヒーメーカーの空間も確保。さやかなながら、暮らしを豊かにしてくれる

こだわりの音と、
コーヒーの香りに酔いしれて。

したコの字型のキッチンは理想的でした」と奥さま。キッチンの位置は、中庭やリビング階段から2階の気配まで感じられる場所。子ども達がどこで遊んでも、孤立することはない。打ち合わせではほぼ奥さまが主導権を握ったが、ご主人念願のBOSEスピーカーと、こだわりのコーヒーコーナーは「何とか叶いました(笑)」ご主人も笑顔。お日さまが降り注ぐLDKで、豊かなコーヒの香りと良い音に酔いしれる時。正面の中庭では、子ども達がパパとママの目線を感じながら大はしゃぎ。理想通りの家族のつながりが、じっくりと描かれている。

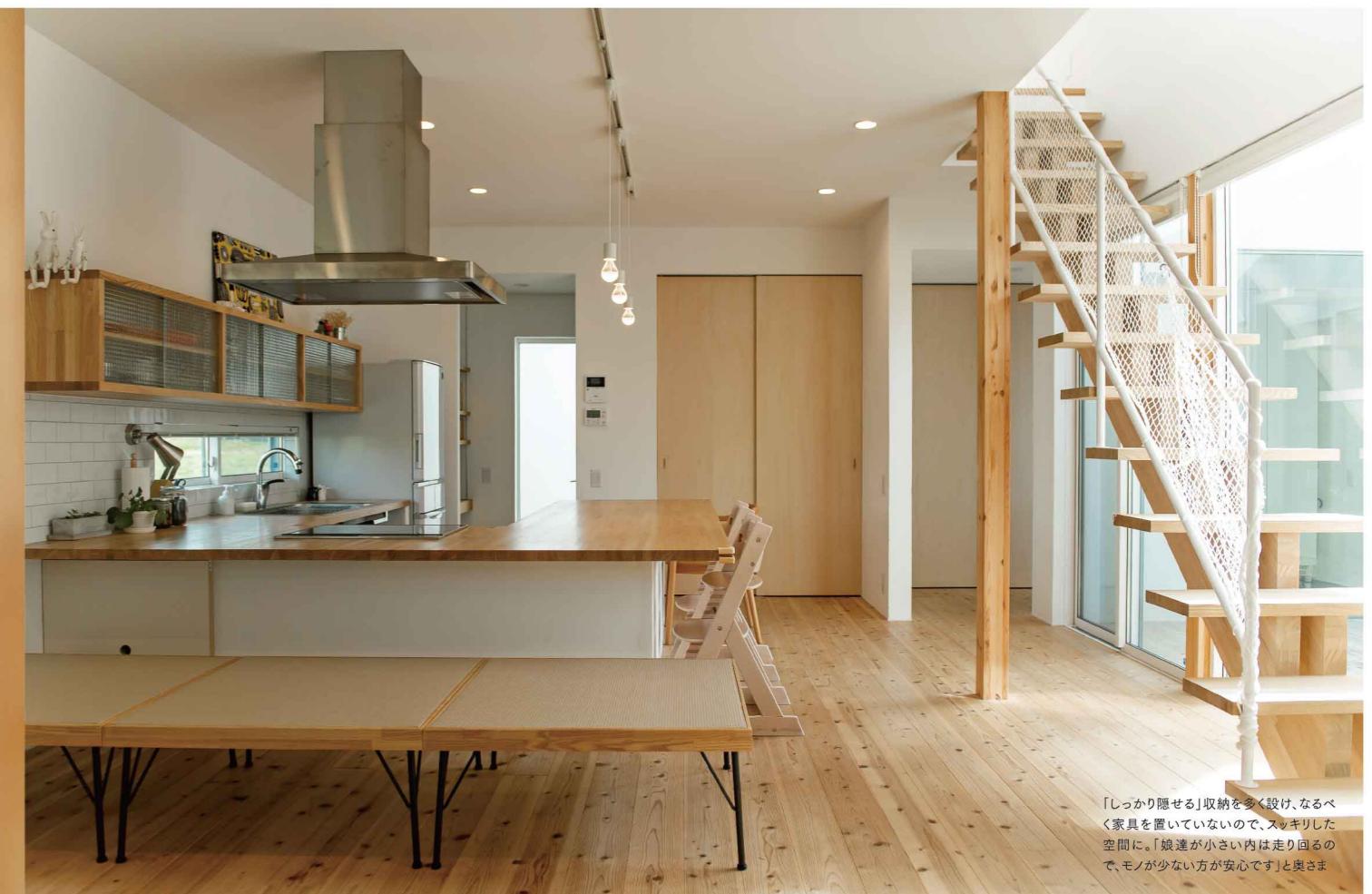


仲良く並んでモグモグタイム。子どもの様子をしっかり見守れる距離感も嬉しい



[キッチン]

家事は分担しているので、ご主人がキッチンに入ることも多い。2人で入ってもゆったり広いので、ストレスなく日々を過ごすことができる



「しっかり隠せる」収納が多く設け、なるべく家具を置いていないので、スッキリした空間に。「娘達が小さい内は走り回るので、モノが少ない方が安心です」と奥さま



COMPANY DATA

株式会社 SORAデザイン
熊本市南区江越1-6-5

連絡先
TEL 096-288-9801

HPアドレス
www.soradesign.biz

詳しい情報は
158ページに掲載

毎日のように中庭で七輪BBQをして、夏にはプールで遊んで、時には近所の子ども達が大集合することも。姉妹は伸び伸び、大人はゆったり。好きなように過ごせて、何も我慢しない暮らしが、ここにはあった。

2階に上ってすぐのこの場所は、ベランダへの大窓からお日さまが降り注ぐ日光浴スポット。屋内干し竿も付けられるので、サンルームの役割もある

揮されているのだ。

忘れられないエピソードがある、と奥さま。「現場を見に行ったら、スタッフの河本さんがベランダを掃除していく。」何か自分の家みたいな感覚です。少しでもキレイに住んで欲しくて、つて言われて、感激しました。建てて終わりではなく、小まめに家の様子を見に来てくれるし、家具の配置から家電選びまで何でも頼れる。施主だけではない、スタッフの愛情や熱意も知っているから、この家を大好きでいられるのかもしれない。

毎日のように中庭で七輪BBQをして、夏にはプールで遊んで、時には近所の子ども達が大集合することも。姉妹は伸び伸び、大人はゆったり。好きなように過ごせて、何も我慢しない暮らしが、ここにはあった。



家族が横に並んでもゆったり広い洗面台。姉妹がもう少し大きくなったら、みんな一緒に洗顔や歯磨きに追われる朝の風景が見られるかも



何も我慢しないでいい。
楽に暮らすことの価値。



ランドリールームは中庭にあるウッドデッキのすぐ横。「将来歳をとったら、1階だけで暮らしが完結する動線にもこだわったんです」と奥さま

スタッフの想いを感じてさらにこの家が誇りに

もう一つ、この家で叶えたかったこと、それは「片付けやすく、モノを隠せる」ことだった。モノが少ないスッキリした暮らしが理想のご夫婦。必要な場所に必要な大きさの収納を、隠し扉のようにたくさん作った。「家そのものがオシャレなので、飾りつ気がなくとも素敵な空間になるのが嬉しい。でもこの家にいると、雑貨にも興味を持ち始めて、モノが増えつつあります」と、奥さんは新たな“好き”をこの家で見つけたようだ。

共働きのご夫婦は家事も分担している。洗濯はご主人の担当。キッチンから中庭越しにランドリーまで見えるので、互いの家の進捗も分かり、分担しやすい。屋内干しスペースなど便利な動線も夫婦を助けている。家族のつながりは、こんな所でも発展している。